

11

かいせん 疥癬

集団生活や家庭での発しん

1 病原体名

ヒゼンダニ

2 年齢層

全年齢、集団生活を行う高齢者や、密に接触する家庭内で発症します。

3 潜伏期間

通常は1~2ヶ月、角化型疥癬(重症型)の場合は4~5日の場合もあります。

4 症状とケア

- ① 疥癬には「通常疥癬」と「角化型疥癬」があります。
- ② 通常疥癬は、強いかゆみと赤い発しん、小豆大のしこりが見られます。角化型疥癬は、角質が増殖し、あかが増えたような状態になります。
- ③ 疥癬トンネルと呼ばれる白い筋が、皮膚に見える場合があります。
- ④ 発しんの消失には時間がかかり、かゆみが続きます。

5 診断と治療

- ① 症状の問診や顕微鏡検査により診断します。皮膚科専門医を受診してください。
- ② 医師の指示に従い、飲み薬や塗り薬で治療します。
- ③ 治療を開始すると、感染力は速やかに低下します。

6 周囲に拡げないために

- ① 入院する時や施設に入所する時に、皮膚にかゆみがあれば、そのことを最初に医師やスタッフに伝えましょう。
- ② 肌の接触や畳での雑魚寝、寝具や衣類の接触で感染します。角化型疥癬は、はがれた皮膚からも感染します。
- ③ 患者も家族も、日頃から石けんで手洗いをしましょう。
- ④ タオルやバスマット等、肌に触れる物は共有しないようにしましょう。
- ⑤ 「通常疥癬」と診断されたときは、寝具や衣類を交換し、洗濯はいつもどおりでよいです。「角化型疥癬」と診断されたときは、部屋の清掃をこまめに行い、洗濯物は乾燥機で乾かします。感染者の入浴順は最後とし、最後に浴槽をよく洗います。



かいせん